

领跑者

从日本3A公司
原版引进

新 完全掌握

日语能力考试

N2级

阅读

- 旧版好评如潮
- 新版全面升级
- 每级五个分册
- 提升综合实力

田代ひとみ 中村則子 初鹿野阿れ 清水知子 福岡理恵子 著
北京未名天日语学校教研组 翻译


 北京语言大学出版社
 BEIJING LANGUAGE AND CULTURE
 UNIVERSITY PRESS



H369.37
T610



郑州大学 *040108649290*

从日本3A公司
原版引进

新 完全掌握

日语能力考试

N2级

阅读



田代ひとみ 中村則子 初鹿野阿れ 清水知子 福岡理恵子 著
费雪 柴灼 何欣 魏薇 周明华 翻译

H369.37
T610

北京语言大学出版社
BEIJING LANGUAGE AND CULTURE
UNIVERSITY PRESS

图书在版编目 (CIP) 数据

新完全掌握日语能力考试 N2 级阅读 / (日) 田代瞳等著 .

— 北京: 北京语言大学出版社, 2012.11

ISBN 978-7-5619-3411-1

I. ①新… II. ①田… III. ①日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料
IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2012) 第 270878 号

北京市版权局著作权合同登记号 图字: 01-2011-6885

Shin Kanzen Masuta Dokkai: Nihongo Noryoku Shiken N2

©2011 TASHIRO Hitomi, NAKAMURA Noriko, HAJIKANO Are, SHIMIZU Tomoko, and FUKUOKA Rieko

PUBLISHED WITH KIND PERMISSION OF 3A CORPORATION,
TOKYO, JAPAN

中文版 ©2012 北京语言大学出版社

本书仅限在中华人民共和国境内使用及销售。

本書籍の中華人民共和国境界外での使用及び販売を禁止します。

书 名: 新完全掌握日语能力考试 N2 级阅读

责任印制: 陈 辉

出版发行: 北京语言大学出版社

社 址: 北京市海淀区学院路 15 号 邮政编码: 100083

网 址: www.blcup.com

电 话: 发行部 82303648 / 3591 / 3650

编辑部 82303393

读者服务部 82303653 / 3908

网上订购电话 82303668

客户服务信箱 service@blcup.com

印 刷: 北京东海印刷有限公司

经 销: 全国新华书店

版 次: 2013 年 1 月第 1 版 2013 年 1 月第 1 次印刷

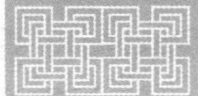
开 本: 787 毫米 × 1092 毫米 1/16 印张: 16.25

字 数: 345 千字

书 号: ISBN 978-7-5619-3411-1 / H · 12200

定 价: 38.00 元

凡有印装质量问题, 本社负责调换。电话: 82303590



前 言

日语能力考试于1984年开始实施,以非日语为母语的学习者为对象,测试并认定其日语能力的考试。参加考试的考生逐年增加,现已成为世界范围内的大规模外国语考试之一。自设立该考试至今的二十余年间,由于日语学习者的多样化、学习目的的转变等多种原因,2010年起以“新日语能力考试”的名义,对考试内容进行了大规模的改革。新日语能力考试不仅对考生的日语知识进行测试,还考查考生日语的实际运用能力问题。

《新完全掌握日语能力考试》系列是根据日语能力考试改革的要求而全新升级改版的日语应试学习用书。由北京语言大学出版社原版引进。N2系列共包含《汉字》、《词汇》、《语法》、《阅读》和《听力》五个分册。本书是为学习和备考新日语能力考试N2级的学习者编写的阅读考试习题集。

能力提高篇

第1部分 评论、解说、随笔等

第2部分 广告、通知、说明书等

第1部分和第2部分分类列举考试中常见的各类文章。每篇文章对应一类问题,训练学习者抓住重点进行阅读的能力。

第3部分 解题实践

除了第1部分和第2部分中练习的题型,第3部分列举出与实际考试出题模式相同的问题。通过对这些问题的解答,帮助学习者习惯、适应新的考试形式。

模拟测试篇

本部分提供与实际考试形式完全相同的模拟测试题目。学习者可以尝试在规定时间内完成这部分的阅读问题。通过该练习,明确在正式的考试中如何更合理地分配时间,在考前做好应考的心理准备。

■ 本书的特点

1. 介绍基础阅读的要点。并针对该要点进行相应的练习。
2. 例题的解说通过采用标记符号等,使说明变得更加简洁易懂。练习的详解在书后的附录中。
3. 书中收录了新日语能力考试中采用的新题型,包括通知、说明书、广告等多种实用性文章,可以使学习者得到充分的训练。

笔者衷心地希望在新日语能力考试的备考过程中,本书能够对学习者有所帮助,同时也希望学习者在学习、生活、工作中需要使用日语时,本书能够成为学习者们的得力助手。



■ 本书的目的

本书的主要目的有以下两点。

1. 提供日语能力考试 N2 级备考策略：帮助学习者提高通过 N2 级考试的能力。
2. 提高考生的“阅读”能力：帮助学习者提高全面的“阅读”能力。

■ 日语能力考试 N2 级阅读试题

日语能力考试 N2 级分为“语言知识、阅读”(考试时间 105 分钟)和“听力”(考试时间 50 分钟)两个部分。阅读题属于“语言知识、阅读”的一部分。

阅读题又可以细分为下面五个部分：

1. 内容理解(短篇) 5 问(200 字左右的短篇文章, 每题 1 问 × 5 题)
2. 内容理解(中篇) 9 问(500 字左右的中篇文章, 每题 3 问 × 3 题
但问题数量有时也会有所变动。)
3. 综合理解 2 问(合计 600 字左右的两篇短文, 共 2 问 × 1 题)
4. 观点理解(长篇) 3 问(900 字左右的长篇文章, 3 问 × 1 题)
5. 信息检索 2 问(700 字左右的广告、指南等, 2 问 × 1 题)

■ 本书结构

为了帮助学习者提高通过日语能力考试的能力, 本书采用了逐步累加日语文章、信息素材等的阅读练习模式。

能力提高篇 第 1 部分 评论、解说、随笔等

1. 文章结构的理解
2. 掌握解答问题的技巧

第 2 部分 广告、通知、说明书等

1. 全面把握文章
2. 寻找有效信息

第 3 部分 解题实践

模拟测试篇

从第 1 部分到第 3 部分, 例题后面都附有相应的练习题。考生应尝试使用学到的方法解答问题。以下进行详细说明。

能力提高篇

第1部分：评论、解说、随笔等

第1部分列举出评论、解说、随笔等文章，由两个部分构成。

1. 理解文章结构
2. 掌握解答问题技巧

1. 理解文章结构——把握文章整体内容的练习

在这一部分中，进行理解文章结构的练习。

阅读外语文章时，如果过于注意细节的话，有时会出现无论如何都无法整体把握文章主旨的情况。因此，本书首先引领学习者在阅读时整体把握笔者的写作意图。

准备参加N2级日语能力考试的学习者中，有的人不擅长阅读日语文章，还有人遇到不常见的汉字就无法理解其所表达的意义等。每个人情况都不太相同。此外，还有学习者能够回答针对文章部分内容的提问，但无法整体把握文章的中心意思。

为了帮助这一部分学习者也能够比较容易地理解文章的要点，例题中采用了图形或符号等，来对文章的结构进行说明。

- [对比] 与其他事物做比较
- [转换说法] 换用其他词语进行解说
- [比喻] 比喻成其他事物
- [疑问提示句] 使用疑问句来提出论点

抓住这些行文结构，文章就会变得易于理解。对于擅长阅读的学习者来说，也能够更快、更正确地理解文章。

2. 掌握解答问题的技巧——正确理解文章细节部分的练习

在这一部分中列举出来的各种提问形式，都是考试中经常出现的问题类型，介绍各种题型的解答技巧，并引导学习者进行练习。

- 对指示词进行提问
- 对“谁”“干什么”进行提问
- 对下画线部分的含义进行提问
- 对理由进行提问
- 对例子进行提问

通过对细节部分的思考，达到实现对文章的正确理解的目的。

第1部分可以作为日语能力考试“内容理解（短篇）”部分的练习。此外，也可作为为了阅读“内容理解（中篇）”而进行的基础阶段的训练。

第2部分：广告、通知、说明书等

改革后的日语能力考试的出题范围，除了涉及到评论、解说、随笔等类型的文章以外，还扩展到了广告、通知、说明书等类型文章。阅读此类文章的时候，读者必须采取与阅读评论、解说、随笔等时所不同的阅读方式。例如，不能从头到尾地细读，而是需要采取通篇浏览把握文章的目的和主旨，或是只阅读必需部分的内容等阅读方式。学习者需要接触各种类型的文章，掌握阅读时应该以什么为重点。

1. 整体把握文章——针对文章整体内容进行的提问

首先是把握文章整体内容的练习，以掌握文章的中心内容。

这是为了阅读“内容理解（短篇）”进行的练习。

2. 寻找有效信息——针对文章部分内容进行的提问

实际阅读广告、通知、说明书等类型的文章时，多数情况是读者为了某些特定的目的，需要寻找自己所需要的信息。日语能力考试中也会出现类似考题。这部分提供的就是在阅读之后找出所需信息的练习。

这主要是针对“信息检索”和“综合理解”进行的练习。

第3部分：实践问题

这一部分，如下文所示，学习者需要解答与实际考试形式相同的模拟试题。此外，由于“内容理解（短篇）”已经在第1部分、第2部分中进行过练习，所以该部分中不包含此项练习。

• 内容理解（500字左右的中篇文章每题3问）

• 作者观点理解（900字左右的长篇文章每题3问）

这类考题是测试学习者在阅读论述逻辑明晰的社论、评论等900字左右的文章后，是否能够整体把握作者想要表达的观点和意见。这类题目中，既有针对文章部分内容进行提问的考题，同时也有针对全文中心内容进行提问的考题，需要学习者进行相关练习。

• 综合理解（合计600字左右的两篇短文共2问）

这类考题是测试学习者在对比阅读两篇相对浅显易懂的文章的过程中，是否能够边比较、边整合相关信息、边对文章进行理解。这类题目虽然是第1部分内容的实际运用，但在解答问

题的时候，有多个需要注意的点，需要学习者进行相关的练习。

• **信息检索**（700字左右的广告、指南等2问）

这一部分，以与考试相同的形式，对第2部分中练习过的问题进行练习。

日语能力考试的问题和本书的对应表

日语能力考试出题类型	与考试问题相对应的本书中的练习题
内容理解（短篇）	第1部分 评论、解说、随笔等 1. 文章结构的理解 2. 掌握解答问题的技巧 第2部分 广告、通知、说明书等 1. 整体把握文章 2. 寻找有效信息
内容理解（中篇）	第3部分 解题实践（基础练习—第1部分、第2部分）
内容理解（长篇）	第3部分 解题实践（基础练习—第1部分）
主张理解（长篇）	第3部分 解题实践（基础练习—第1部分）
综合理解	第3部分 解题实践（基础练习—第1部分、第2部分）
信息检索	第2部分 广告、通知、说明书等 1. 整体把握文章 2. 寻找有效信息 第3部分 解题实践

模拟测试篇

这是与实际的日本语能力考试的考试形式完全相同、题目数量完全相等的模拟试题。

试题中“语言知识（文字、词汇、语法）、阅读”部分的考试时间为105分钟，请自行对阅

读时间进行合理分配。

■ 例题解说中使用的主要符号

- : 需要注意的接续方式
- ↑ : 指示语所表示的内容

1 ↔ ⇕ : 对比

• [] : 省略部分

• = || : 换说法

■ 表记

- 表记遵照原文。解说或原创文章中的表记依据常用汉字表（2010年版），也有部分例外。
- 含有旧日语能力考试大纲以外的日语汉字和1级汉字的词汇、超纲和1级词汇，或者读法特别难的词语上，标注了读音假名。但是，“信息检索”及其同类别问题中不会标注读音假名。原文中含有读音假名的，将依照其原样进行标注。
- 例题中，所有汉字均标注了读音假名。

致学习者 iv

じつりょくようせいへん
実力養成編 能力提高篇

だいぶ 第1部 ひょうろん かいせつ
評論・解説・エッセイなど 评论、解说、随笔等

1. ぶんしょうのしくみを理解する—一文章全体の意味をとらえる練習
ぶんしょう りかい ぶんしょうぜんたい いみ れんしゅう

理解文章结构——把握文章整体意义的练习

- 1) [対比] ほかのものと比べる
[対比] 与其他事物相比较 4
- 2) [言い換え] ほかの言葉で言い換える
[变换说话] 用其他表达变换说法 14
- 3) [比喩] ほかのものにたとえる
[比喻] 比喻成其他事物 22
- 4) [疑問提示文] 疑問文を使って話題を提示する
[疑问提示句] 用疑问句提示话题 26
- 5) [主張表現] 自分の意見であることを示す
[观点表述] 表述自己的观点 32

2. 問いを解く技術を身につける—一文章の細かい部分を
と と ぎじつ み ぶんしょう こま ぶぶん

正確に読み取る練習 掌握解题技巧——正确理解文章
せいかく よ と れんしゅう
 章节部分的练习

- 1) 指示語を問う 就指示词提问 38
- 2) 「だれが」「何が」「何を」などを問う
 就“谁”“什么”“干什么”提问 46
- 3) 下線部の意味を問う 就画线部分的意义提问 52
- 4) 理由を問う 就理由提问 58
- 5) 例を問う 就举例提问 68

だいぶ 第2部 こうこく し せつめいが
広告・お知らせ・説明書きなど 广告、通知、说明书等

1. 全体をつかむ—全体的な内容を尋ねる問い
ぜんたい ぜんたいてき ないよう たず と

抓住整体——就文章整体内容提问 76

2. 情報を探し出す一部分的な内容を尋ねる問い

找寻信息——就文章部分内容提问	86
1) 広告 广告	86
2) お知らせ 通知	94
3) 説明書き 说明书	106
4) 表・リスト 列表、名录	116

第3部 実戦問題 实战训练

1. 内容理解 (中文) 内容理解 (中篇)	124
2. 主張理解 (長文) 观点理解 (长篇)	132
3. 統合理解 综合理解	147
4. 情報検索 信息检索	161

模擬試験 模拟测试篇	181
------------------	-----

解答と解説 答案与解说	199
-------------------	-----

実力養成編 だいぶ 第1部 ひょうろん 評論・かいせつ 解説・エッセイなど

第1部では、評論・解説・エッセイなどを取り上げて、読みの基礎を練習します。

文章の長さは短いものもあれば長いものもありますが、一つの文章につき問いは一つだけです。

注目すべきポイントを絞りました。

1. 文章のしくみを理解する—文章全体の意味をとらえる練習

「この文章の内容として最も適切なものはどれか」「この文章で筆者が最も言いたいことは何か」といった問いを取り上げます。「文章のしくみ」を意識して読むと、文章全体の意味がつかみやすくなり、全体的な内容を問う問いにも答えやすくなります。

「文章のしくみ」を理解する手がかりとして、ここでは

- 1) [対比] ほかのものと比べる
- 2) [言い換え] ほかの言葉で言い換える
- 3) [比喩] ほかのものにととえる
- 4) [疑問提示文] 疑問文を使って話題を提示する
- 5) [主張表現] 自分の意見であることを示す

を取り上げました。もちろん、すべての文章にこれらが当てはまるわけではありませんが、この5つは一般的によく使われています。

例題では、次の手順で解説しています。

全体をつかもう

キーワードからテーマを推測し、その文章のしくみの特徴(対比、言い換え、比喩など)に着目して文の流れを追い、全体をまとめる。

選択肢と比べよう

「全体をつかもう」でわかったことと選択肢を比べ、正解を選ぶ。

2. 問いを解く技術を身につける—文章の細かい部分を正確に読み取る練習

「それは何を指しているか」「 とはどういうことか」「だれが したのか」など、部分的な内容を問う問いを取り上げ、文章の細かい部分を正確に読み取る練習をします。

ここでは、代表的な問いの形として、

- 1) 指示語を問う
- 2) 「だれが」「何が」「何を」などを問う
- 3) 下線部の意味を問う
- 4) 理由を問う
- 5) 例を問う

の5種類を取り上げました。これらの問いを解く技術を身につけましょう。

例題では、次の手順で解説しています。

ステップ1 本文を読んで全体をつかもう

細かい問いに答える問題でも、まずは全体をざっとつかむ。

ステップ2 問いを見て本文から答えを探そう

問いのタイプに合わせた「読みのポイント」を使って、答えを探す。

ステップ3 選択肢と比べよう

ステップ1、2でわかったことと選択肢を比べ、正解を選ぶ。

ぜんたい
全体をつかもう

1) キーワードからテーマを推測する

でんしかいぎ ふつう かいぎ しゅうい しこう → テーマは、でんしかいぎ
電子会議、普通の会議、「周囲」、思考

2) 「対比」に注目する



「周囲」が気になる。

だれか…が発言している間は、…意識が向かってしまう。

しかし、実はその間、思考のほうはストップしてしまいやすい。

「周囲」を気にする必要がなく、自分の思考を止めずにほかの人の発言が聞ける。

その結果、新しいアイデアが浮かぶことが多いのである。

3) 全体をまとめる

普通の会議では「周囲」が気になって、思考がストップしてしまいやすいが、電子会議では自分の思考を止めなくてもいいので、新しいアイデアが出やすくなる。

せんたくし くら
選択肢と比べよう

- 1: 正解
- 2: 周囲が気になるのは、普通の会議のほうである。
- 3: 「会場に参加者が集まらなくてもいいことだが、それだけではない」と書かれている。
- 4: 電子会議は考える時間が短いとは書かれていない。

- 普通の会議 電子会議 ← 「対比」になっている言葉に ○ をつけておこう。
- 「それに対し」「一方」「反対に」などの対比を示す表現に注目しよう。
- 「しかし」「だが」「でも」「～が」などの逆接表現にも注目しよう。この後に筆者の言いたいことが書かれていることが多い。

1) [対比] ほかのものと比べる

- ◆段落がたくさんある長い文章でも、「対比」に注目すると、段落同士の関係がわかりやすくなる。
「対比」に注目して、段落の関係を大きくまとめよう。

☆ 例題2 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

もしいまだ大恋愛の最中だったら、本など読むことをおすすめしない。とくに恋愛小説など、間違っても読んじゃいけない。たとえばバルザックの『谷間のゆり』のような純愛小説の傑作をもつてきても、トルストイの『アンナ・カレーニナ』のような不倫小説の傑作をもつてきても、あなたが現に夢中でうちこんでいる恋愛の生なましい体験に比べたら、色あせてしまうにちがいないからだ。

また恋愛中の相手の恋人に、本の話など仕掛けてはいけません。たとえば遊園地に行き黙って恋人とジェット・コースターに乗って遊ぶことに比べたら、ずっと不毛なお喋りにすぎないからだ。

だがおなじ本を読むことでも、おなじ本の話でもいいからやってみたほうがいい。もしも恋愛が峠をこえたと思えたり、これは失敗だったと思えたりしたときには。

本には恋愛の終りや失恋の辛さを、もとに戻す力はないが、あなたの恋愛の終りや失恋をもう一度、あなたが体験したよりもっと巨きく、もっと深く体験させてくれる力があるからだ。

(吉本隆明『読書の方法 なにを、どう読むか』光文社)

【問い】 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 恋愛しているときには、くだらないお喋りをするより、二人で本を読み、その話をするとい
- 2 恋愛小説の傑作を読むと、いろいろ学ぶことができるから、恋愛中の人は、本を読んだほうが
- 3 恋愛をしている人は本を読まないほうがいいが、恋愛が終りそうと思ったら、より体験を深
- 4 恋愛中の人は本を読む必要はないが、恋愛が終りそうと思ったら、失恋の苦しさを和らげる